

令和5年9月1日

保護者 各位

玉野市立荘内小学校  
校長 小原 小百合

## 自ら学ぶ家庭学習について

秋晴の候、ますますご清栄のことと拝察いたします。平素より、本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。

さて、荘内小学校では、「子どもを主役にした学校」をめざし、主体的に学び、行動する児童の育成に取り組んでいます。その一環として、次のような自ら学ぶ家庭学習に取り組めます。

### ①「担任による評価」から「子ども自身による自己評価」へ

問題を解くだけでなく、自分で○つけをし、振り返るまでが宿題です。

- ・「自己評価できる力」を育てることは、主体的に学ぶ児童の育成に不可欠です。自分で○つけをすることを通して、自分の強みや弱みを振り返ることは、小学校だけでなく、中学校での学び方にもつながるものです。
- ・また、自己評価は、正しい学習内容の強化と、誤った学習内容の消去が即時にできるので、教師採点よりも教育効果が極めて高いといわれています。特に、ドリル学習など自分で答え合わせができるものは、すぐに自分で答え合わせを行い、学びを振り返ることで、自分の到達度を判断したり、課題を見つけたりします。
- ・学校では、漢字や図形など自己評価の難しいものの答え合わせにも児童に取り組みせながら、○つけや振り返りの仕方を指導します。取り組んだ家庭学習については、学年段階にそって、必要に応じて確認したり、助言したりします。
- ・ご家庭でもお子様のがんばりをしっかりほめてあげてください。また、お子様が十分理解できていない、間違っているのに○にしている等、気づかれたことがありましたら積極的にご支援ください。

### ②「決められた課題」だけでなく「自分にとって必要な課題」を

自主学習では、「めあて」（その課題に取り組む理由）と、「取り組んだ内容」、「振り返り」（取り組んでみての気づき）を書きます。

- ・学校が必要と考える「決められた課題」だけでなく、児童が「自分にとって必要な課題」を決めて取り組むことは、主体的な学びそのものです。
- ・学校や日常の生活での「おもしろい」「不思議」「もっと知りたい」「できるようになりたい」など、関心のあることを学習用端末などで調べたり、勉強で苦手なことをドリルで復習したりします。
- ・学校では、「自分の課題を見つける場面の確保」「めあてや振り返りのもち方」「学習用端末活用の経験」など、自分にとって必要な課題に取り組む方法を指導します。

このような家庭学習の取組は、全国の学校で進められている取組ですが、荘内小学校としては新しい取組の部分もあります。まずは①から、学年に応じて少しずつ進めていきたいと考えています。家庭学習はご家庭の果たす役割が大きい領域です。スムーズに取り組めるよう学校でも支援いたしますが、お子様が戸惑っている様子がありましたら、積極的にご支援ください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。